SUPER-FJ Race report

Japan Scholarship System

2021 もてぎチャンピオンカップレース
S−FJ もてぎ･菅生シリーズ 第4戦&5戦

Super FJ JAPAN CHALLENGE 第4戦

2021年 9月 45日　天候:雨･晴れ　参加14台

テキスト:はた☆なおゆき

全６戦で争われるスーパーFJ もてぎ・菅生シリーズは、ここからシリーズ後半戦に突入。ツインリンクもてぎを舞台に､｢もてぎチャンピオンカップレース第４戦｣として９月４日(土)に第４戦が、そして５日（日）に第５戦が開催された。そして､｢スーパーFJ ジャパン・チャレンジ｣ とのＷタイトルともなった。

２レース開催ではあるものの予選は１回のみ、ベストタイムとセカンドベストタイムでグリッドを決めるケースが多いが、今回は土曜日と日曜日とで完全に独立しているのが特徴でもある。予選が１回だけだと、得てして同じような並びになりやすいが、２日間でコンディションが大きく変わることも考えられるため、ガラリと順位が変わる可能性もあるはずだ。

エントリーは 14 台。その大半はレギュラードライバーで、遠征ドライバーは少なかったものの、昨年の全日本カート選手権ＯＫクラスのチャンピオン、渡会太一選手（オートバックス ドラゴコルセ）がフォーミュラデビューを果たし、大きく話題を集めていた。まだ 17 歳、限定 A ライセンスを取得しての参戦となった。
一方、第２戦から２連勝を飾っている、佐藤樹選手（群馬トヨペット リノア ED）にとっては、チャンピオンに王手をかけたレースウィークでもある。佐藤選手もまだ 18 歳、ヤングドライバー同士の戦いにも、熱い視線が注がれた。

≪第４戦　公式予選≫

長く続いた猛烈な暑さから解放されたツインリンクもてぎは、もはや秋の気配さえ漂わせるようになっていた。小雨降る、あいにくの空模様の中、第４戦の予選は 10 時 35 分から 20 分間の計測で競われた。
先頭を切ってピットを離れていったのは、ポイントリーダーの佐藤選手。計測１周目から 2 分 13 秒 677 をマークしてトップに立ち、ランキング２位の伊藤慎之典選手（テイクファーストチャリ走 10V）が 2 分 14 秒 359、前田大道選手（ELEV レーシングドリーム 10V）が 2 分 14 秒 745 で続いた。このままタイムは短縮されていくものと思われたが、90 度コーナーで止まった車両があり、回収のため赤旗が出されてしまう。中断されたのは５分ほどだったものの、再開後は雨足が増して、誰もタイムアップならず。佐藤選手も 2 分 16 秒台を記すに留まり、１周目勝負となってしまった。
４番手は今回がデビュー戦の池田琢馬選手（AMEROID&NRS ED）で、５番手は平裕介選手（ZAP 大窪熔材 10V ED）。そしてランキング３位の四倉悠聖選手(ZAP 日本平中自動車 10V ED)が６番手で、注目の渡会選手は７番手に留まっていた。「最初の１周が勝負だったんですが、そこでアタックをミスしてしまって、タイムを出すことができませんでした。カートとまったく別物なので、グリップ感も全然違いますし、難しかったですね。まだまだ全然行けると思うので、決勝に対しても準備して結果出せるように頑張りたいです」と渡会選手。

第４戦ポールポジション：佐藤樹選手（群馬トヨペット リノア ED）
「雨が強くなるという予報だったので、早めにタイム出そうって、それはうまくいったんで良かったです。決勝では、このまま逃げ切れるように頑張ります。まずはチャンピオンとか意識せず行きます」

予選２番手：伊藤慎之典選手（テイクファーストチャリ走 10V）
「赤旗前の、雨の少ないタイミングで決まっちゃいましたね。決勝はちょっとでも降ってきてもらって、僕に有利な状況で走りたいです。今回から鈴鹿で走らせてもらっている、テイクファーストさんのクルマで走ります」

予選３番手：前田大道選手（ELEV レーシングドリーム 10V）

「最初の１周だけでしたね。でも、前に突っかかっていたし、赤旗が出たのは僕に撮ってはラッキーでした。今回からクルマを改めて、ウェットテストができていなくて、あんまりウェットに慣れていないので。まぁ、午後と明日はドライという予報なので、そこからは本領発揮できると思います」

2021 もてぎチャンピオンカップレース 第4戦

もてぎ･菅生スーパーFJ選手権 第4戦･第5戦

スーパーFJ Sat. 公式予選

2021 / 9 / 4 :

TWIN RING MOTEGI

正式結果表

Weather :Rain

Track :Wet

Road Course(4,801m)

Pos	No	Class	C.P.	Name	Best Time	Delay / Gap		Lap	CarName
1	81	-	1	佐藤 樹	2'13.677			2 / 10	群馬ﾄﾖﾍﾟｯﾄ ﾘﾉｱ ED
2	33	-	2	伊藤 慎之典	2'14.359	0.682	0.682	2 / 10	ﾃｲｸﾌｧｰｽﾄﾁｬﾘ走10V
3	91	-	3	前田 大道	2'14.745	1.068	0.386	2 / 10	ELEVﾚｰｼﾝｸﾞﾄﾞﾘｰﾑ10V
4	39	-	4	池田 拓馬	2'14.846	1.169	0.101	2 / 10	AMEROID&NRS ED
5	17	-	5	平 裕介	2'15.209	1.532	0.363	2 / 9	ZAP 大窪炉材 10V ED
6	13	-	6	四倉 悠聖	2'15.276	1.599	0.067	2 / 10	ZAP日本平中自動車10VED
7	34	-	7	渡会 太一	2'15.995	2.318	0.719	2 / 10	ｵｰﾄﾊﾞｯｸｽ ﾄﾞﾗｺﾞｺﾙｾ
8	22	-	8	内藤 大輝	2'16.454	2.777	0.459	2 / 9	RaiseUP RCIT ED
9	15	-	9	齋藤 慈岳	2'16.527	2.850	0.073	2 / 10	FERWILDLIFEKKS2
10	36	-	10	長谷部 一真	2'17.314	3.637	0.787	2 / 8	ALBIREXRD10V
11	5	-	11	大友 敦仁	2'17.589	3.912	0.275	2 / 9	ｶﾛｰﾗ宮城RaiseUP07
12	35	-	12	大川 烈弥	2'21.305	7.628	3.716	6 / 8	ｱﾙﾋﾞﾋﾞﾖﾝﾄﾞKKSGIAED
13	55	G	1	伊勢屋 貴史	2'25.013	11.336	3.708	9 / 9	ｱﾙﾋﾞ☆あやし眼科☆10V.ED
14	16	G	2	大貫 直実	2'25.673	11.996	0.660	6 / 8	ｸﾞﾚｰﾄﾞ1ｽｽﾞﾊﾞﾝF109

***** 以上予選通過 (2'54.538 - 130%) *****

≪第４戦 決勝レース≫

土曜日のうちに行われる決勝レース第４戦は 10 周での争いで、14 時 20 分にスタートが切られることとなった。予選の後、いったん雨はやんで、ドライタイヤでも走行可能な状態になるかと思われたが、気まぐれな天気はまた路面を濡らしていた。全車ウェットタイヤを装着。
ポールシッター佐藤選手は無難なスタートを切って、伊藤選手の逆転を許さず。３番手は前田選手がキープしたが、池田選手がピタリと着いて離れない。一方、渡会選手はオープニングの１周で５番手に浮上していた。
トップの佐藤選手は２周目に突入した段階で、早くも１秒１の差を伊藤選手に対してつける。その後方では池田選手が前田選手を４コーナーでかわして３番手に浮上。そして、S 字では渡会選手が痛恨のコースアウトで、ほぼ最後尾まで順位を落としていた。これで四倉選手が５番手に。
４周目までファステストラップを連発して逃げ続けていた佐藤選手ながら、５周目から伊藤選手のタイムが上回るようになり、形勢逆転かと思われた。だが、伊藤選手の抵抗が許されたのは２周だけだった。その後はまた佐藤選手が逃げていき、最後は 3 秒５の差でフィニッシュ。３連勝を飾って、タイトルに王手をかけた。
一方、３番手を走行していた池田選手は、９周目の S 字でコースアウトしてリタイア。５周目のストレートで前田選手を抜いていた、四倉選手が３位を獲得。そして渡会選手は４周目に９番手まで順位を上げていたが、先のコースアウトが黄旗区間だったため、ドライビングスルーペナルティを課せられてしまう。それでも最後は 7 位でチェッカーを受けていた。

第４戦優勝：佐藤樹選手（群馬トヨペット リノア ED）
「スタートは若干ミスしましたけど、キープできてよかったです。理想に近いレースができました。ラップタイムも比較的安定していたので、いつもよりミスなく走れたと思っています。決まったかどうか計算していないので分からないですが、いずれにしても明日もまた勝ちたいので、頑張ります」

第４戦２位：伊藤慎之典選手（テイクファーストチャリ走 10V）
「内圧低めで行ったんですが、それが裏目に出てしまいました。最初に離されて、後半あんまり変わらなくて終わってしまって。もうちょっと最初から近くにいたら、プレッシャーもかけられたでしょうし、もうちょっと違った展開にできたと思うので。僕の判断で低くしたので、間違ったかなと。まだ明日もレースあるので、今度こそポール獲れるように頑張ります」

第４戦３位：四倉悠聖選手（ZAP 日本平中自動車 10V ED）
「棚ぼたって感じで、自分の力で獲れた表彰台じゃないって、悔しい気持ちはあるんですが、こうして上がれたことにはありがたいと思います。予選が昨日のウェットコンディションと違い、グリップしないイメージがあって、そこに合わせられなくて苦戦してしまいました。明日は気を入れ替えて頑張ります」

2021 もてぎチャンピオンカップレース 第4戦
もてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第4戦・第5戦

スーパーFJ Sat. 決勝　　**2021 / 9 / 4　:**

TWIN RING MOTEGI　　**正式結果表**　　Weather :Rain

Road Course(4,801m)　　Track :Dry/Wet

Pos	No	Class	C.P.	Name	Type	Lap	Total Time	Delay	Gap	Best	B/L	CarName
1	81	-	1	佐藤 樹	KK-SⅡ	10	22'54.664			2'16.371	9 / 10	群馬ﾄﾖﾍﾟｯﾄ ﾘﾉｱ ED
2	33	-	2	伊藤 慎之典	RD10V	10	22'58.212	3.548	3.548	2'16.337	5 / 10	ﾃｲｸﾌｧｰｽﾄﾁｬﾘ走10V
3	13	-	3	四倉 悠聖	Super-FJ	10	23'24.458	29.793	26.245	2'18.640	8 / 10	ZAP日本平中自動車10VED
4	91	-	4	前田 大道	RD10V	10	23'25.010	30.346	0.552	2'18.359	10 / 10	ELEVﾚｰｼﾝｸﾞﾄﾞﾘｰﾑ10V
5	36	-	5	長谷部 一真	RD10V	10	23'30.343	35.679	5.332	2'19.233	5 / 10	ALBIREXRD10V
6	15	-	6	齊藤 慈岳	KK-SⅡ	10	23'45.338	50.674	14.994	2'20.078	4 / 10	FERWILDLIFEKKS2
7	34	-	7	渡会 太一	10V	10	23'57.716	1'03.051	12.377	2'17.780	8 / 10	ｵｰﾄﾊﾞｯｸｽ ﾄﾞﾗｺﾞｺﾙｾ
8	35	-	8	大川 烈弥	KK-S	10	24'01.388	1'06.724	3.672	2'21.515	7 / 10	ｱﾙﾋﾞﾋﾞﾖﾝﾄﾞKKSGIAED
9	5	-	9	大友 敦仁	07J	10	24'04.467	1'09.803	3.078	2'22.217	8 / 10	ｶﾛｰﾗ宮城RaiseUP07
10	17	-	10	平 裕介	Super-FJ	10	24'08.690	1'14.025	4.222	2'19.785	4 / 10	ZAP 大窪炉材 10V ED
11	55	G	1	伊勢屋 貴史	RD10V	10	24'34.063	1'39.399	25.373	2'24.848	8 / 10	ｱﾙﾋﾞ☆あやし眼科☆10V.ED
12	16	G	2	大貫 直実	ZAP F109	10	25'00.033	2'05.368	25.969	2'26.237	7 / 10	ｸﾞﾚｰﾄﾞ1ｽｽﾞﾊﾞﾝF109
				***** 以上完走 (規定周回数 : 9Laps) *****								
	39	-		池田 拓馬		8	18'40.078	2Laps	2Laps	2'18.559	4 / 8	AMEROID&NRS ED
	22	-		内藤 大輝	KK-SⅡ	0						RaiseUP RCIT ED

≪第５戦　公式予選≫
日曜日のもてぎは、天気予報では降ったりやんだりを再び繰り返すと伝えていたが、反して雨は一滴も落ちずに済んだ。11 時 20 分から 20 分間の計測で行われた、第５戦の予選はドライコンディションで競われることとなった。
ここでもいきなりトップにつけたのは、佐藤選手だった。2 分 8 秒台から周を重ねるごとタイムを縮めていって、計測５周目から 2 分 5 秒 984、2 分 5 秒 948 と 6 秒の壁をひとり超えて連発し、４戦連続でポールポジションを獲得した。

２番手には折り返しまで四倉選手がつけていたが、それまで４番手だった渡会選手が 2 分 6 秒 721 をマークして浮上。さらに 2 分 6 秒 792 を記録した前田選手にも、四倉選手は抜かれて４番手に。その後、自己ベストを 2 分 6 秒 801 に短縮したが、ポジションはそのままだった。５番手は伊藤選手で、６番手は池田選手が獲得。なお、後半のタイムアップは上位陣には果たされずに終わっている。

第５戦ポールポジション：佐藤樹選手（群馬トヨペット リノア ED）
「もうちょっと上げられたかなと思うんですけど、全戦ポール獲れたのでよかったです。４位になれば確定となるんですが、もちろん勝って決めたいです。落ち着いて走れば、また勝てると思うので、頑張りたいと思います」

第５戦予選２番手：渡会太一選手（オートバックス ドラゴコルセ）
「もてぎでは初めてのドライ路面なんですが、もともとドライの方が自信はありました。ただ、トップとの差は大きいので、そこに関して決勝までにうまく修正できたら、と思っています。トップ速いので、最初のうちに捕まえられたら。スタートは（笑）、昨日だいぶ失敗しちゃったんですけど、抜き方はカートでもうまくできているので、あんまり心配していません」

第５戦予選３番手：前田大道選手（ELEV レーシングドリーム 10V）
「昨日より走りやすかったですし、手応えは八分ぐらいありました。でも、トップとのタイム差は大きいし、しかも１周だけじゃなくアベレージも高いので、ちょっとまいったなって感じです。突破口を見出すことを模索して、あとは八分だった出来を十割にして、決勝で順位上げられるよう頑張るだけです」

2021 もてぎチャンピオンカップレース 第4戦

もてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第4戦・第5戦

スーパーFJ Sun. 公式予選 2021 / 9 / 5 :

TWIN RING MOTEGI

正式結果表

Road Course(4,801m)

Weather :Cloudy

Track :Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Type	Best Time	Delay / Gap		Lap	CarName
1	**81**	-	1	佐藤 樹	KK-SⅡ	**2'05.948**			6 / 10	群馬ﾄﾖﾍﾟｯﾄ ﾘﾉｱ ED
2	**34**	-	2	渡会 太一	10V	**2'06.721**	0.773	0.773	6 / 10	ｵｰﾄﾊﾞｯｸｽ ﾄﾞﾗｺﾞｺﾙｾ
3	**91**	-	3	前田 大道	RD10V	**2'06.792**	0.844	0.071	7 / 10	ELEVﾚｰｼﾝｸﾞﾄﾞﾘｰﾑ10V
4	**13**	-	4	四倉 悠聖	Super-FJ	**2'06.801**	0.853	0.009	7 / 9	ZAP日本平中自動車10VED
5	**33**	-	5	伊藤 慎之典	RD10V	**2'06.852**	0.904	0.051	10 / 10	ﾃｲｸﾌｧｰｽﾄﾁｬﾘ走10V
6	**17**	-	6	平 裕介	Super-FJ	**2'07.472**	1.524	0.620	7 / 10	ZAP 大窪炉材 10V ED
7	**39**	-	7	池田 拓馬		**2'07.479**	1.531	0.007	8 / 9	AMEROID&NRS ED
8	**36**	-	8	長谷部 一真	RD10V	**2'08.038**	2.090	0.559	5 / 9	ALBIREXRD10V
9	**22**	-	9	内藤 大輝	KK-SⅡ	**2'08.227**	2.279	0.189	7 / 8	RaiseUP RCIT ED
10	**35**	-	10	大川 烈弥	KK-S	**2'09.090**	3.142	0.863	7 / 9	ｱﾙﾋﾞﾋﾞﾖﾝﾄﾞKKSGIAED
11	**15**	-	11	齊藤 慈岳	KK-SⅡ	**2'09.571**	3.623	0.481	6 / 9	FERWILDLIFEKKS2
12	**5**	-	12	大友 敦仁	07J	**2'09.856**	3.908	0.285	9 / 9	ｶﾛｰﾗ宮城RaiseUP07
13	**55**	G	1	伊勢屋 貴史	RD10V	**2'12.647**	6.699	2.791	4 / 9	ｱﾙﾋﾞ☆あやし眼科☆10V.ED
14	**16**	G	2	大貫 直実	ZAP F109	**2'12.845**	6.897	0.198	6 / 6	ｸﾞﾚｰﾄﾞ1ｽｽﾞﾊﾞﾝF109

******* 以上予選通過 (2'44.433 - 130%) *******

≪第５戦 決勝レース≫

第５戦決勝レースもしっかりドライコンディションは保たれ、しかもこの週末初めて日が差すまでとなっていた。レース開始は 15 時 30 分で、第４戦同様 10 周で競われる。

スタートダッシュは佐藤選手も渡会選手も今ひとつ。ふたりの間を前田選手が絶妙のダッシュの後、かい潜っていったほどだったが、３コーナーでは早くも佐藤選手がトップを奪還する。一方、渡会選手は四倉選手にもかわされ、４番手に後退、真後ろに伊藤選手が着けていた。

第４戦とは異なり、オープニングラップの上位陣は一列縦隊。２周目までは 5 台連なっていたが、３周目に入ると佐藤選手が頭ひとつ抜けだす格好に。

逆に勢いを見せていたのが渡会選手だった。3 周目には前田選手を、4 周目には四倉選手を、それぞれ 2 コーナーでかわし、２番手に浮上。だが、四倉選手も負けてはおらず、すぐ4コーナーで渡会選手の前に出る。

その後もふたりのバトルは続き、６周目の１コーナーでは渡会選手が抜くも、90 度コーナーでは四倉選手が抜き返す。そして、７周目の１コーナーでは伊藤選手が前田選手を抜いて４番手に躍り出る。

四倉選手、渡会選手、伊藤選手の３人による２番手争いが激しくなる……と思われたのも束の間、ブレーキングを攻めすぎた渡会選手は３コーナー先でコースオフ。５番手に踏み留まったのは、まさに意地の賜物だったか。

後方での激しいバトルを尻目に、８周目、９周目と佐藤選手は残る力のすべてを振り絞って、ファステストラップを連発。最後は 2 秒３の差をつけて４連勝を飾るとともに、悲願のチャンピオンを決めることとなった。そして四倉選手が自己最上位となる２位を獲得、３位は伊藤選手で表彰台の顔ぶれは第４戦と一緒。前田選手、渡会選手の順で続き、６位は長谷部一真選手（ALBIREX RD10V）が獲得した。

なお、次回の「スーパーFJ ジャパン・チャレンジ」は 10 月９日に、スポーツランド SUGO で今回同様、もてぎ・菅生シリーズとの W タイトルで開催される。残す戦いは最終戦の富士を含め２戦。３戦３勝の岡本大地選手がランキングのトップにつけている。

第５戦優勝：佐藤樹選手（群馬トヨペット リノア ED））

「自分としては全然理想の走りができなくて、それでも勝ったから良かったんですけど、最初に焦って、それを引きずっていた感じもありました。いつもより落ち着いていなかった、と思っています。でも、勝ってチャンピオン獲れたので、良かったです。もちろん嬉しいですけど、理想の走りができなかったので、そういう悔しさもありますね。このシリーズは今回が最後で、あとは日本一決定戦に向けて。それと来週の鈴鹿ですね、いい結果を残せるように頑張ります」

第５戦２位：四倉悠聖選手（ZAP 日本平中自動車 10V）

「頑張って、置いていかれないようにと思ったんですが、やっぱり後ろからだんだんプレッシャーもかかってきて。開幕戦の反省も活かして、バトルはしないように、前半は我慢しようと思っていたんですけど、やっぱり仕掛けられてくると……。でも、あの時よりは離されないで済んだので、まだまだこれからですけど、頑張ります」

第５戦３位:伊藤慎之典選手(テイクファーストチャリ走 10V)

「最初、チームメイト（渡会選手）に先行かれて焦っていたんですが、気を取り直して最後までに前に行こうと。トップは遠くても２位まで行くつもりでしたが、渡会とバトルしている時に四倉くんに抜かれちゃって、離されてしまいました。チャンピオン決定しちゃいましたが、最後勝ちたいですね、SUGO の方が得意なので」

2021 もてぎチャンピオンカップレース 第4戦

もてぎ・菅生スーパーFJ選手権 第4戦・第5戦

スーパーFJ Sun. 決勝

2021 / 9 / 5 :

TWIN RING MOTEGI

正式結果表

Road Course(4,801m)

Weather :Fine
Track :Dry

Pos	No	Class	C.P.	Name	Type	Lap	Total Time	Delay / Gap		Best	B/L	CarName
1	**81**	-	1	佐藤 樹	KK-SⅡ	**10**	21'17.763			2'06.566	9 / 10	群馬ﾄﾖﾍﾟｯﾄ ﾘﾉｱ ED
2	**13**	-	2	四倉 悠聖	Super-FJ	**10**	21'20.128	2.364	2.364	2'06.655	9 / 10	ZAP日本平中自動車10VED
3	**33**	-	3	伊藤 慎之典	RD10V	**10**	21'22.864	5.101	2.736	2'06.650	5 / 10	ﾃｲｸﾌｧｰｽﾄﾁｬﾘ走10V
4	**91**	-	4	前田 大道	RD10V	**10**	21'23.987	6.223	1.122	2'06.921	5 / 10	ELEVﾚｰｼﾝｸﾞﾄﾞﾘｰﾑ10V
5	**34**	-	5	渡会 太一	10V	**10**	21'24.316	6.552	0.329	2'06.892	5 / 10	ｵｰﾄﾊﾞｯｸｽ ﾄﾞﾗｺﾞｺﾙｾ
6	**36**	-	6	長谷部 一真	RD10V	**10**	21'33.874	16.111	9.558	2'08.169	5 / 10	ALBIREXRD10V
7	**39**	-	7	池田 拓馬		**10**	21'34.959	17.195	1.084	2'08.252	7 / 10	AMEROID&NRS ED
8	**22**	-	8	内藤 大輝	KK-SⅡ	**10**	21'38.023	20.259	3.064	2'08.338	9 / 10	RaiseUP RCIT ED
9	**17**	-	9	平 裕介	Super-FJ	**10**	21'38.366	20.602	0.342	2'08.272	8 / 10	ZAP 大窪炉材 10V ED
10	**15**	-	10	齊藤 慈岳	KK-SⅡ	**10**	21'49.159	31.395	10.793	2'09.217	10 / 10	FERWILDLIFEKKS2
11	**35**	-	11	大川 烈弥	KK-S	**10**	21'50.452	32.689	1.293	2'08.681	7 / 10	ｱﾙﾋﾞﾋﾞﾖﾝﾄﾞKKSGIAED
12	**5**	-	12	大友 敦仁	07J	**10**	21'57.661	39.897	7.208	2'10.001	9 / 10	ｶﾛｰﾗ宮城RaiseUP07
13	**16**	G	1	大貫 直実	ZAP F109	**10**	22'37.990	1'20.226	40.329	2'12.649	2 / 10	ｸﾞﾚｰﾄﾞ1ｽｽﾞﾊﾞﾝF109
14	**55**	G	2	伊勢屋 貴史	RD10V	**10**	22'58.478	1'40.714	20.487	2'13.716	4 / 10	ｱﾙﾋﾞ☆あやし眼科☆10V.ED

******* 以上完走 (規定周回数 : 9Laps) *******

FJ ASSOCIATION

Japan Scholarship System

YOKOHAMA